



令和3年度 湯河原小学校

学校経営計画 (R3. 4. 1)

《 学校教育目標 》

生命(いのち)輝く子どもを育てる

— 心はほかほか 学びはしっかり 体ははつらつ —

湯河原町の学校教育の重点(要約)

- 生きる力を育む学校づくり
- 信頼される学校づくり
- 安全・安心な学校づくり
- 思いやりの心を育む学校づくり
- 人権教育を推進する学校づくり

めざす学校の姿

児童一人ひとりが輝く学校

児童・・・明日も また来たいと思える学校 (期待)

保護者・・・今日も 安心して送り出せる学校 (安全・安心)

教職員・・・いつも 協力的、磨き合える学校 (協働)

地域・・・いつでも 連携し、地域に開かれた学校 (信頼)

心はほかほか (思いやりのある子)

Key・Point

- ◆ 進んであいさつをしていますか?
- ◆ 温かな言葉を使っていますか?
- ◆ 掃除をがんばっていますか?

主な手立て

- 共に成長を実感できる積極的な児童指導
 - ・学び合い、認め合い、支え合う学年・学級づくりの推進
 - ・児童による自治活動や集会活動の充実、開校150周年記念集会
 - ・なかよし班活動の充実
 - ・「ありがとう」運動の促進
- 豊かな心の育成
 - ・人権教育の推進
 - ・考え議論する道徳科の実践
 - ・成果発表の機会・方法の工夫
 - ・清掃活動充実と主体的環境整備
 - ・地域と連携したキャリア教育
 - ・国際理解教育の推進

学びはしっかり (すすんで学ぶ子)

Key・Point

- ◆ 粘り強く学習をしていますか?
- ◆ ICT機器を活用できていますか?
- ◆ 進んで家庭学習に取り組んでいますか?

主な手立て

- 児童の思考に寄り添った授業改善・実践と確かな学力の育成
 - ・わかる・楽しい授業づくり
 - ・知識・技能の着実な習得
 - ・思考力・判断力・表現力を育む授業の工夫
 - ・学びに向かう力・人間性等の涵養
 - ・教科横断的なカリキュラム・マネジメント
 - ・ALTと協働した英語教育の推進
 - ・図書館教育(読書活動)の充実
 - ・ICT機器の効果的な活用
 - ・学習規律の確立
- 家庭・地域等との連携
 - ・学習習慣(家庭学習)の確立
 - ・家庭読書活動(うちどく)の推進
 - ・幼・保・小・中の連携の推進

体ははつらつ (たくましく生き抜く子)

Key・Point

- ◆ 手洗い、検温、体調チェックを毎日していますか?
- ◆ 災害が起きた時、初動行動がとれていますか?
- ◆ 早寝、早起きをし、朝ご飯をきちんと食べていますか?

主な手立て

- 児童の安全の確保
 - ・学校施設・教具の定期的な点検
 - ・防犯、交通安全教室の実施
 - ・防災体制整備、避難訓練の工夫
 - ・地域と連携した登下校の安全
 - ・マチコミ・メールの有効活用
- 健やかな体の育成
 - ・丁寧な朝の見取りと健康観察
 - ・新しい生活様式の定着
 - ・食育(「お弁当の日」の実施、地場産物の活用等)の推進
 - ・外遊びの奨励と運動の習慣化
 - ・集団を意識した体育的行事の実施と内容の工夫・充実

一人ひとりに自尊感情、自己有用感を!

インクルーシブ教育の推進 (共に育ち、歩む子)

Key・Point

- ◆ 決まりを守っていますか?
- ◆ 何でも話せる友達はいますか?
- ◆ 学習で困った時「教えて」と言えますか?

主な手立て

- 児童理解と望ましい集団づくり
 - ・相談ポストの設置、いじめアンケート、Q&U調査等の実施と活用
 - ・問題等の未然防止と早期発見、早い対応、丁寧な対応、やりきる対応
 - ・基本的生活習慣の形成と定着
- 個に応じたきめ細かな指導
 - ・適時なケース会議による組織的できめ細かい対応
 - ・個別支援の充実
 - ・日本語習得への児童支援
 - ・通級指導教室の効果的な運営
- 支援教育の充実
 - ・校内教育支援教室の効果的な運用
 - ・インクルージョンの浸透とエバーササグデザインの推奨
 - ・交流学习、共同学習の推進
 - ・特別支援教育の充実

地域とのつながり

児童に、教職員に、地域に開かれた学校の推進

- 学校評議員制度の充実
- 学校支援ボランティア制度の充実
- PTA・地域との連携の促進
- 郷土ゆがわら学習の体系化
- 外部機関・団体等との連携の促進

学校組織の運営

「チーム学校」として、教職員の個性と主体性が生きる学校の推進

- 教職員の主体的な企画立案
 - ・新たな視点に立つ教職員の企画・立案の推奨
- 校内研究・研修の充実
 - ・ICTを活用した研究、不祥事防止、教科指導等を目的とした研修の推進
- 既存組織の機能の充実
 - ・教育相談コーディネーターを軸にしたケース会議等の充実
- 学校評価の有効活用
 - ・学校評価アンケートの結果・分析と学校運営への反映
- 積極的な情報発信
 - ・HP、ブログ、各種たより等による保護者、地域への発信
- 働き方改革の推進
 - ・教育活動の見直しや精選とICT機器の活用による効率化

